家庭の日作文コンクール

毎月第３日曜日は「家庭の日」

青少年育成鳥取市民会議では、次代を担う青少年の健全な育成を図るため、昭和57年から毎年、小中学生を対象に、家庭に関する作文コンクールを行っています。平成26年度は、159点の応募がありました（入賞者は2月号24ページに掲載）。その中から、最優秀賞に選ばれた作文を紹介します。　問い合わせ先　第二庁舎生涯学習課 TEL 0857-20-3363 FAX 0857-20-3364

ファミリー登山

久松小学校３年
森本（もりもと） 蔵人（くらと） さん

「やったあ、すごい。最高にきれい。」

歩き始めて七時間。沢やささの道、石がゴロゴロしているきゅうな山道の林の中をずっとずっと歩いてきました。と中何回も休けいして、おにぎりやキャンデーを食べたりお茶をのんだりしました。

今年の夏山は、家族みんなで北アルプスの蝶ヶ岳にチャレンジです。お父さんとお母さん、妹と弟、それにおじいちゃんとおばあちゃん、ぼくの七人です。朝六時十分に上高地河童橋を出発しました。兄弟三人が手をつないだり、お父さんお母さんと手をつないだりして、横尾までの道を三時間歩きました。ぼくは、この道を通るのが七回目です。

「去年の秋は、サルがいっぱいおったで。」

「お父さん、あそこに見えるのがまぼろしの滝だよ。」

お父さんはビデオを一生けん命とっていました。ひさしぶりのファミリー登山なので、ちょっとうれしい気持ちでした。なぞなぞやしりとりを何回もしました。

横尾で少し長い休けいをしました。

「ぼくちゃん、何才ですか。」

と、となりにすわっていたおじさんがたずねてきました。弟はびっくりして、

「三才です。」

とはずかしそうに答えていました。まわりには弟のような小さい子どもはいませんでした。と中でいねむりをしたり、ぐずったりしたら大へんなので、ぼくが負い子をせ負って歩きました。

「くらとがおってたすかるわ。重たくなるけど少しがんばってね。」

と、お母さんが声をかけてくれました。

妹は、一年生です。このところ、前歯がぐらぐらしていてとても気にしていました。

「お母さん、前歯がぬけたよ。」

おにぎりを口に入れたとたんに歯がぬけたようです。

「よかったね。写真にとっておこうかな。」

と、お母さんがわらって言いました。ぬけた歯は、紙につつんでリュックサックに入れました。

横尾からは、林の中をただただ歩きました。おもしろかったのは、「なんちゃって槍見台」です。名前がユニークで「ええっ。」と思いました。木の間から遠くに槍ヶ岳の三角がはっきり見えました。槍っていうのは聞いたことがあるけれど、見たのははじめてでした。

「くらとくん見て見て、あれが槍だよ。」

と、おばあちゃんがとく意そうに話しかけてきました。

まだまだ林の中はつづきます。歩いても歩いても空は見えません。

「もういやだあ。足がいたい。まだ尾根は見えないの。」

と、妹とおばあちゃんが大きな声をはりあげていました。とてもしんどそうです。

「あともうちょっと、がんばれ。」

とぼくは声をかけました。ぼくもと中しんどくなったけど、三才の弟がしっかり歩いてがんばっていたので、ぼくもがんばりました。

そして、四時間たったころ、やっと林をぬけることができました。向かいがわに穂高連峰が見えてきました。すごいけしきです。青空の下に高くそびえる山々がつらなっていました。

「すごい。すごく感動した。来てよかったね。」

「おじいちゃんはみんなにこのけしきを見せたかったんだよ。よくがんばったね。」

山の上は風がとても気持ちよかったです。

山小屋が見えると、なんだか急に元気になって足が速く進みました。妹のリュックサックを持ってあげました。弟の目は今にもねむそうになっていました。

山小屋でエビピラフやチキンライスを食べました。おじいちゃんのガスコンロが大活やくです。おなかいっぱい食べました。夜になると上には星がたくさん見えました。北斗七星が大きく分かりました。下には、雲の中を雷がぴかっと光っていてびっくりしました。

次の朝、ご来光を見るため四時半に起こされました。山の朝はすごくさむくて長そでを着ました。それでもさむくて、ぼくはお父さんのジャンパーの中に入りました。まるでカンガルーの親子のようです。雲の間から太陽がのぼってきました。まわりの山が赤くそまってきれいに見えました。遠くにはふじ山が小さく見えました。

家族みんなですばらしい山のけしきをいっぱい見ました。お父さんは、カメラやビデオを一生けん命いつまでもまわしていました。

けんかすることが多い三人だけれど、山に来ると手つだってあげたり、手をつないであげたりしてなかよくできるなと思いました。本当は、いつもなかよくしないといけないとはんせいしました。

今もあのすばらしいけしきをわすれません。

家庭は子どもの人間形成の基盤です

家庭は、子どもに憩いと安らぎを与える場であり、人生に大切な「ものの見方」「考え方」や「行動のしかた」（基本的生活習慣）を身につけさせる場です。

家族の団らんや家族そろっての行事などで体験を通して子どもたちを心豊かにたくましく育てましょう。

善悪の判断や社会のルール、社会生活のマナーやエチケットは、幼児期から家庭でしっかり教え（しつけ）ましょう。

子どものしつけは、親の義務です。

NHKのど自慢 出場者・観覧者募集！

ＮＨＫと鳥取市では「ＮＨＫのど自慢」を実施します。
出場および観覧をご希望の方は、次の要領でお申し込みください。

◆日　時　**5月3日(日・祝)**
開場／11:00　開演／11:45
終演予定／13:30

◆場　所　とりぎん文化会館　梨花ホール
（尚徳町101番地5）

◆出　演　予選を通過した20組
＜ゲスト＞　岩崎宏美、細川たかし（50音順）
＜司　会＞　小田切千アナウンサー

◆放送予定　平成27年5月3日（日・祝）
12:15～13:00（生放送）
※放送予定は変更になる場合があります。

◆問い合わせ先
▶鳥取市企画推進部秘書課広報室
TEL 0857-20-3159（土日祝除く 8:30～17:15）
▶NHK鳥取放送局
TEL 0857-29-9200（土日祝除く 9:30～18:00）

◆予選会◆

日時　5月2日（土）
受付／10:30　開会／11:45
結果発表予定／17:00
場所　とりぎん文化会館　梨花ホール

◆ゲスト◆

岩崎宏美

細川たかし

出場申込

郵便往復はがき（私製を除く）に必要事項をご記入のうえ、お申し込みください。
【締め切り】3月16日（月）必着

※応募多数の場合は、250組を選出のうえ、前日の予選会にご出場いただきます。選出結果は4月15日（水）ごろに発送します。
※中学生以上の方で、原則としてアマチュアの方が対象です。（中学生は予選会・本選どちらも保護者の同伴が必要です。保護者の名前と電話番号も記入してください。）
※中学生・高校生・大学生の方は職業の欄に部活動などもご記入ください。
※応募は1人（組）1通に限ります。
※グループでお申し込みの場合は、全員の名前（ふりがな）と年齢・性別・職業を明記のうえ、代表者がお申し込みください。
※応募後の曲目・出場者の変更はできません。

《往信用表面》	《返信用裏面》	《返信用表面》	《往信用裏面》
52円 680-8701 （往信） ＮＨＫ 鳥取放送局 「のど自慢」 出場係	記入なし	52円 （返信） ①郵便番号 ②住所 ③名前	①郵便番号 ②住所 ③名前（ふりがな） ④年齢 ⑤性別 ⑥電話番号 ⑦職業（具体的に） ⑧曲名と歌手名 ⑨選曲理由 ⑩保護者の名前と電話番号（※中学生のみ）

※記入に不備があった場合は無効になりますのでご注意ください。

観覧申込

郵便往復はがき（私製を除く）に必要事項をご記入のうえ、お申し込みください。
【締め切り】3月26日（木）必着

※入場無料ですが、入場整理券（1枚で2人入場可）が必要です。
※応募多数の場合は抽選のうえ、当選・落選の結果を4月15日（水）ごろに発送します。
※1歳以上のお子様から入場整理券（1枚で2人入場可）が必要です。
※インターネットオークションなどでの転売を目的としたお申し込みは固くお断りします。売買を目的としたお申し込みであると判明した場合は抽選対象外とさせていただきます。

《往信用表面》	《返信用裏面》	《返信用表面》	《往信用裏面》
52円 680-8571 （往信） 鳥取市役所 「のど自慢」 観覧係	記入なし	52円 （返信） ①郵便番号 ②住所 ③名前	①郵便番号 ②住所 ③名前 ④電話番号

※記入に不備があった場合は無効になりますのでご注意ください。

※ご応募の際にいただいた情報は、抽選結果のご連絡のほか、NHKでは受信料のお願いに使用させていただくことがあります。